



社会福祉士



すべての人が地域のなかで
楽しい生活を送るために

どんな仕事？

生活困難者とサービス提供者を結ぶ

心身の障害や、環境上の理由により日常生活を営むことが困難な高齢者・障害者・児童やその家族の相談に応じます。そのなかで、それぞれに合った保健・医療・福祉サービス・介護・年金制度の説明を行い、関係機関との調整などを担います。

どこで働く？

人の生活のあるところ、
活躍できるシーンはいろいろあります

病院 地域包括支援センター

自治体 福祉施設

社会福祉協議会 など

OB VOICE

相談員や福祉教育など
地域を支える仕事に
やりがいを感じます



小滝 典さん

大田原市社会福祉協議会 勤務
医療福祉学部
医療福祉・マネジメント学科 卒業

これまでは、生活に困った方々の相談員をしてきました。専門機関を紹介したり、病院に行ったり、ご自宅の生活環境を整えたり。自分が支援したことで状況が好転し、「あなたに相談してよかった。ありがとう。」と言われると報われます。今は福祉教育の主担当になり、小中学校や高校に向き、「福祉とはどういうことか」「みんなで支え合っていける地域を作るために」という話をしていきます。生徒たちの意識がわずかでも変わってくるのを実感するとやりがいを感じます。

仕事の展開と将来の展望

援助が必要な場はさらに広がる

超高齢社会を迎え、有料老人ホームやデイサービスなどを提供する民間のシルバーサービス産業の発展はめざましく、サービスの利用者と提供者を結ぶ専門職の需要は高まっています。また、高齢社会や教育問題などを背景に、「医療ソーシャルワーカー」として病院に勤務したり、「スクールソーシャルワーカー」として学校で相談に応じたりと、その活躍の場は広がっています。

どうすればなれる？

- 社会福祉士国家試験に合格しなければなりません。

受験資格を得るには…

福祉系大学で指定科目を履修して卒業する
福祉系短大・専門学校で指定科目を履修して卒業し、指定の施設で実務経験を積む
などの方法があります。

